

ラオスの人たちと、私たち ～ラオスのことを知り、自分のことを見つめよう～

ねらい: 世の中を見渡すと、ケンカやいじめ、犯罪、戦争、テロなど、家庭、学校、社会、国家の間で、暴力的な出来事がある。暴力は時には命まで奪ってしまうこともある。暴力をなくして物事を解決し、平和に暮らすことの大切さを、学級の課題に立ち返って考えることを目指した。

本時の目標世界の様子を知り、平和の大切さに気付き、身近なこととして、どうすれば友達と仲良く過ごすことができるかを考える。

対象: 第1学年

時間: 45分

準備するもの: ラオスの写真、感想用紙

過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 (5分)	1 写真の夫婦の表情を読み取る。 	○不発弾で子供を亡くしてしまった夫婦の写真を提示した。 ・「泣いてるよ。」 ・「なんで泣いてるんだろう。」 ・「子供の写真を持ってるよ。」	不発弾の被害で息子を亡くした夫婦の写真
展開 (20分)	2 戦争について、そして、ラオスの現状について知る。  ラオスは多くのクラスター爆弾により被害を被り、現在でも不発弾による被害があることを伝えた。 3 導入で提示した夫婦の話聞く。 亡くなってしまった男の子   地面に埋まっている不発弾	○ラオスに投下されたクラスター爆弾について話す。 ○伝える時の言葉や提示する資料は、衝撃が強くなりすぎないように配慮した。 ・「こんなにたくさん入ってるんだ…。」 ・「爆弾の一つは小さいのに、こわいんだね。」 ○夫婦の子供は、不発弾の残骸の鉄くずを集めていた時に、被害にあったことを伝えた。 ・「鉄くずを集めてなかったら亡くなってなかったかも。」	クラスター爆弾の写真 写真
展開 15分	4 平和について考える、友達と仲良くするためにはどうすればよいかを考える。		
まとめ 5分	5 振り返りをする。		感想用紙